



令和4年度予算案について

令和4年1月28日
市長会見資料

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



令和4年度予算を編成するにあたっての基本姿勢

- 感染症対策のさらなる強化(感染症対策の強化と横浜経済の回復)
- 誰もが自分らしさを發揮し、いきいきと安心して暮らすことができる街の実現

人口減少の兆しが見え始めている中で、持続可能な市政運営を実現するために

多くの皆様から「住みたい・住み続けたい」と思っていただける横浜

事業者の皆様から選ばれる横浜

4年度予算は、
喫緊の課題である感染症対策にしっかりと取り組むとともに、
子育て支援・教育・DX・脱炭素に重点を置いて編成

政策プロジェクト

子育て世帯に優しい施策や事業者に選ばれる施策など本格的な人口減少時代に対応した効果的な施策を検討

内 容

● 感染症対策のさらなる強化

- ・感染症対策の強化
- ・横浜経済の回復

● 「誰もが自分らしさを發揮し、いきいきと 安心して暮らすことができる街」の実現に向けて

- ・横浜市の状況
- ・実現に向けた3つの柱（令和4年度予算案の取組）
- ・DXの推進

● 令和4年度予算案（予算規模、歳入、事業見直し）

● 持続可能な市政運営の実現に向けて

- ・必要な施策の推進体制の整備（府内検討体制、機構改革）
- ・財政ビジョン（素案）の公表

内 容

● 感染症対策のさらなる強化

- ・感染症対策の強化
- ・横浜経済の回復

● 「誰もが自分らしさを發揮し、いきいきと安心して暮らすことができる街」の実現に向けて

- ・横浜市の状況
- ・実現に向けた3つの柱（令和4年度予算案の取組）
- ・DXの推進

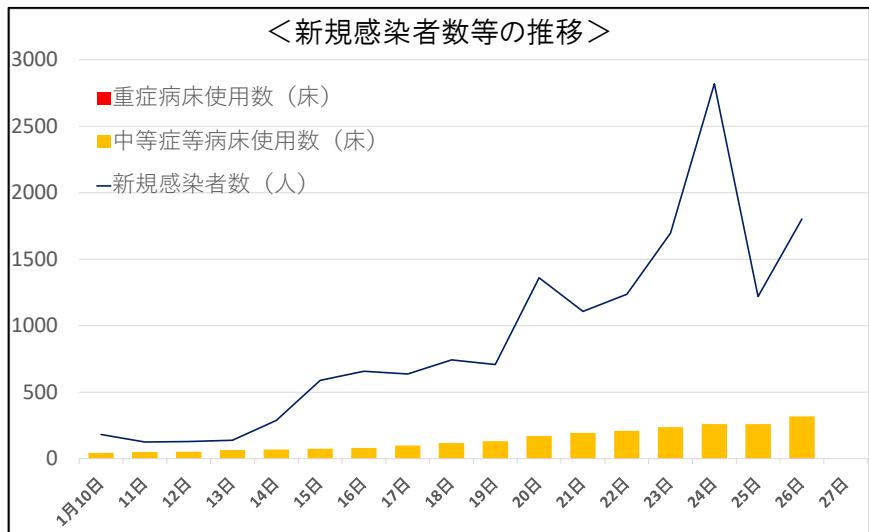
● 令和4年度予算案（予算規模、歳入、事業見直し）

● 持続可能な市政運営の実現に向けて

- ・必要な施策の推進体制の整備（府内検討体制、機構改革）
- ・財政ビジョン（素案）の公表

感染症対策のさらなる強化

○市内の感染状況



【第6波への備えとして】

- ・高齢者入所施設の前倒し接種
 - ・病床の拡充
 - ・自宅療養者の見守り支援体制
- など、先手を打ち、進めてきた

現在、「オミクロン株」による感染急拡大
(1月24日に過去最多2,819人の新規感染者数を確認)

感染症対策のさらなる強化

○市内の感染状況

【感染急拡大への対応として】



<島村厚生労働大臣 政務官への緊急要請の様子>

- ・3回目接種の更なる前倒しを行い、
65歳以上の高齢者の方：1月31日接種開始
65歳未満の皆様：2月下旬接種開始
- ・接種券発送時期等に係る周知動画の配信
- ・重症化リスクのある方へのアプローチが遅れることのないよう、保健所業務の負担軽減に向けた対応を 指定都市市長会として、国に緊急要請

感染症対策のさらなる強化

○感染症対策の強化

■新型コロナワクチン接種

- －3回目接種の前倒し推進※1 **NEW**
- －5～11歳の小児接種の実施体制の構築※1 **NEW**



＜ワクチン接種の推進＞

■基本的な感染症対策の継続

- －24時間対応の感染症コールセンターの運営
- －検査体制の確保、衛生研究所でのゲノム解析※2 **NEW**
- －疫学調査チーム「Y-AEIT」によるクラスター対策



＜医療調整本部「Y-CERT」＞

■医療提供体制の確保・救急体制の感染症対策

- －訪問等による診療に加え、新たな外来診療の拠点の確保により自宅療養者への支援を充実 **NEW**
- －医療調整本部「Y-CERT」による入院調整
- －救急活動における感染防止資器材等の導入 **NEW**

※1 2月補正予算で審議予定 ※2 12月補正予算議決済み

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

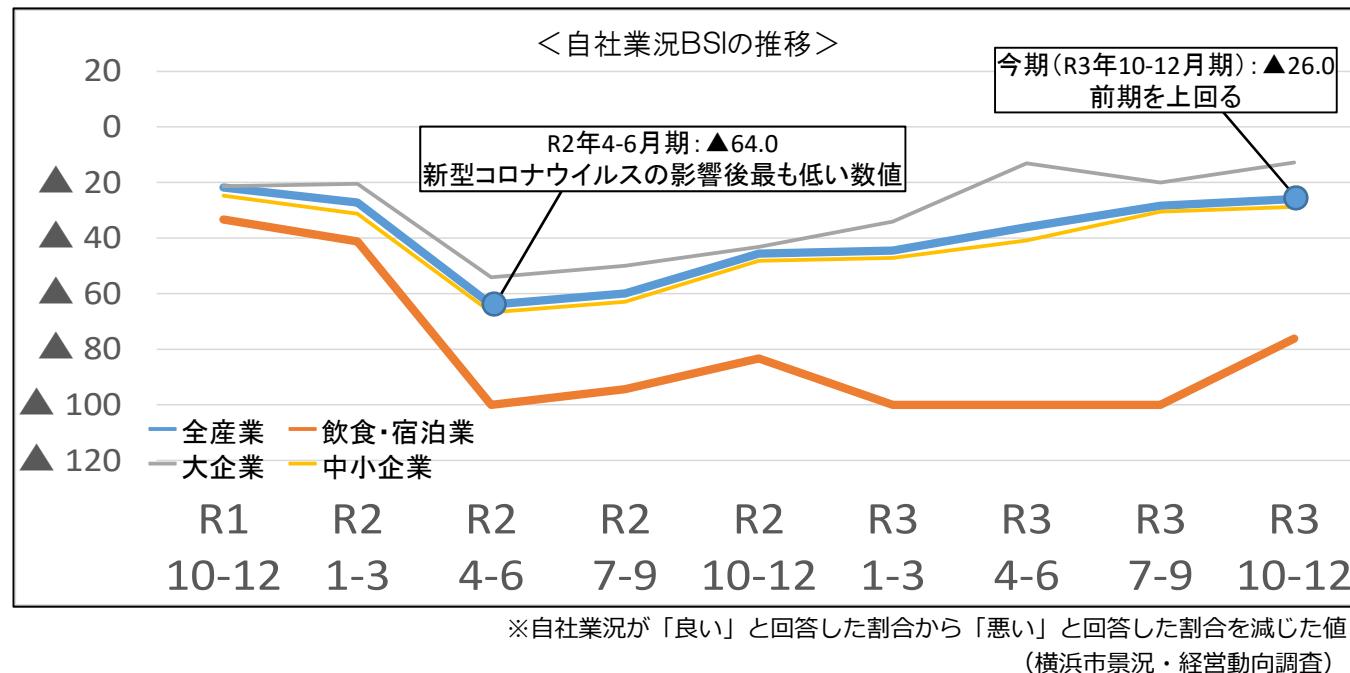
City of YOKOHAMA



感染症対策のさらなる強化

○市内の経済状況

直近の令和3年12月の市内企業の自社業況は、回復傾向だったものの、感染の急拡大の影響により、来期の令和4年3月以降、マイナスが大きくなることが予想される。



感染症対策のさらなる強化

○横浜経済の回復

■中小企業等への支援

- －制度融資による資金繰り支援の拡充 **NEW**
(新型コロナウイルス特別資金、SDGsよこはま資金の創設)
- －商店街プレミアム付商品券の発行支援
(電子商品券の補助上限額の拡充)

■雇用機会の創出・就職支援

- －緊急雇用による雇用創出(400人程度)
- －就職氷河期世代への支援
- －高等職業訓練促進給付金の支給条件の緩和

■観光・MICE支援

- －会場開催及び会場・オンライン併用のMICE開催への支援
- －宿泊・文化芸術公演等・アクティビティへのクーポン付与



< プレミアム付き電子商品券(イメージ) >



<会場とオンラインを併用した国際会議>

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



内 容

● 感染症対策のさらなる強化

- ・感染症対策の強化
- ・横浜経済の回復

● 「誰もが自分らしさを發揮し、いきいきと安心して暮らすことができる街」の実現に向けて

- ・横浜市の状況
- ・実現に向けた3つの柱（令和4年度予算案の取組）
- ・DXの推進

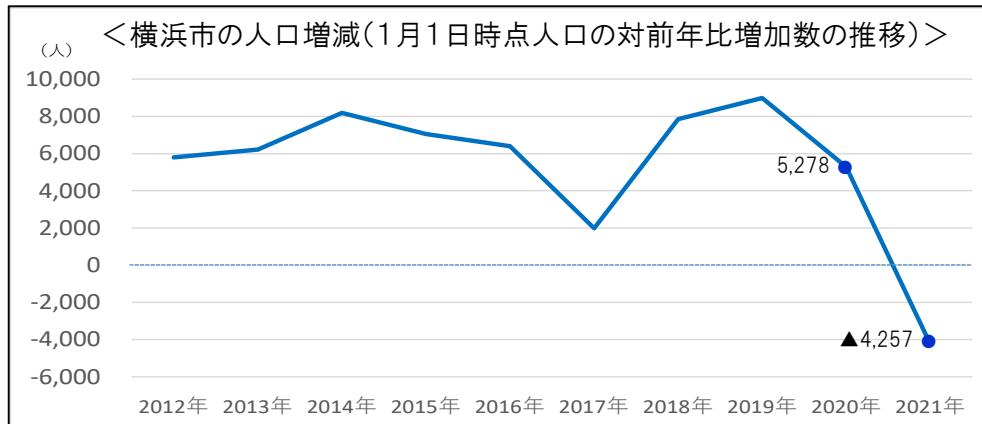
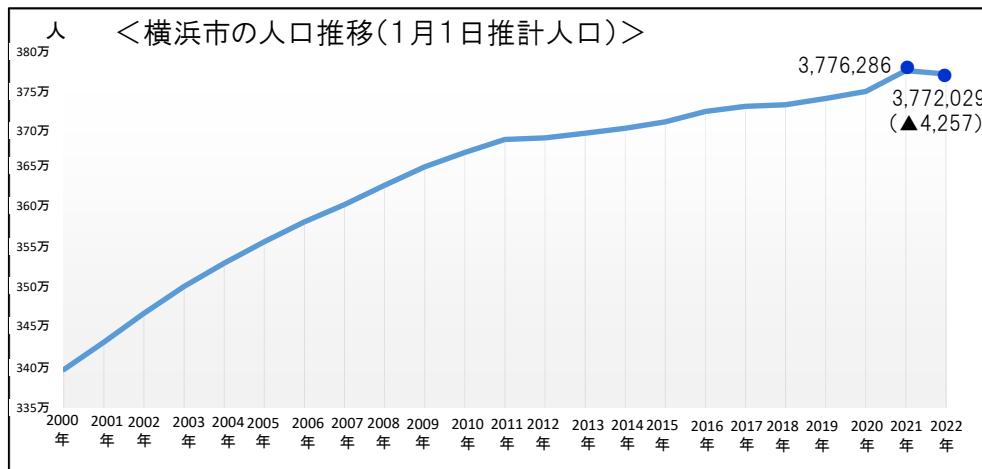
● 令和4年度予算案（予算規模、歳入、事業見直し）

● 持続可能な市政運営の実現に向けて

- ・必要な施策の推進体制の整備（府内検討体制、機構改革）
- ・財政ビジョン（素案）の公表

横浜市の状況

○人口減少の兆し



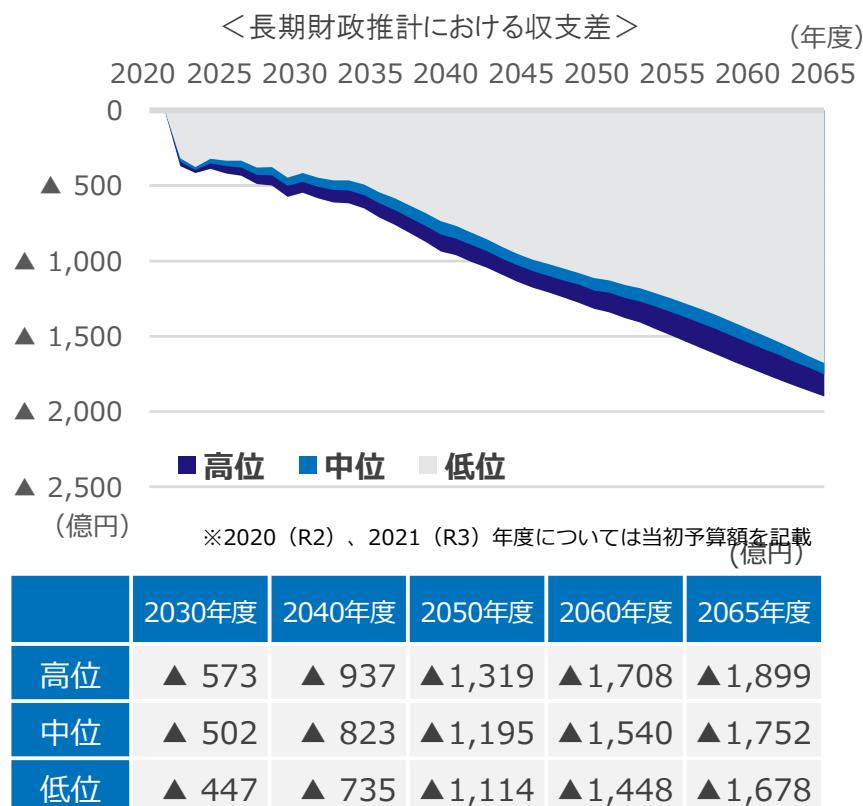
- 直近(2022年1月1日)の人口は、
377万2,029人と前年同期と比べて
4,257人減少
- 2021年中の人口動態※が前年から
マイナスになったのは**戦後初めて**

※人口動態

社会動態(一定期間における転入、転出等)と自然動態(一定期間における出生、死亡)を合わせた人口の動き

横浜市の状況

○収支差の拡大



出典：「横浜市の長期財政推計（R4.1.28更新版）」

「長期財政推計」では、

- ・高齢化の進展
⇒社会保障経費の増加
- ・人口減少
⇒市税収入の減少

今後、各年度の収支差が
拡大し続ける見込み

誰もが自分らしさを發揮し、 いきいきと安心して暮らすことができる街

暮らしやすく、誰もが WELL-BEINGを実現できるまち

- すべての子どもたちの未来を創るまちづくり
- 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり
- Zero Carbon Yokohamaの実現

3つの柱

人や企業が集い、つながり、 新しい価値を生み出し続けるまち

- 力強い経済成長の実現と賑わいがあふれるまちづくり
- 住まいと地域を大切にする持続可能な郊外部のまちづくり
- 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり

市民生活や都市を 支える基盤づくり

- 花・緑・農・水の豊かな魅力あふれる都市づくり
- 災害に強い安全・安心な都市づくり
- 市民生活と経済活動を支える都市づくり





暮らしやすく、誰もがWELL-BEING を実現できるまち

- すべての子どもたちの未来を創るまちづくり
- 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり
- Zero Carbon Yokohamaの実現

暮らしやすく、誰もがWELL-BEINGを実現できるまち

○すべての子どもたちの未来を創るまちづくり

■保育・幼児教育の充実

- －待機児童解消に向けた受入枠の確保(1,290人分)
- －医療的ケア児の受入確保のための看護師雇用経費の拡充
- －SNSを活用したPR強化による保育士の人材確保の促進、離職防止のための相談窓口の設置 **NEW**



＜保育の様子＞

■放課後の居場所づくり

- －長期休業期間等における放課後キッズクラブの開所時間の前倒し(午前8時30分⇒原則午前8時)



＜放課後キッズクラブの様子＞

■ヤングケアラーの支援に向けた取組

- －ヤングケアラーに関する実態把握調査及び **NEW**
広報・啓発

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA

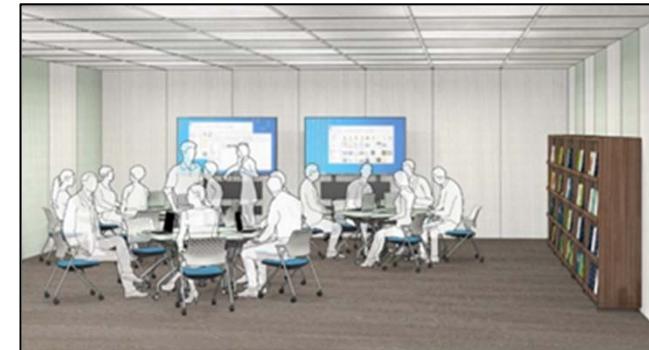


暮らしやすく、誰もがWELL-BEINGを実現できるまち

■児童虐待対策の充実

NEW

- －「東部児童相談所」(仮称)の新設に向けた設計(鶴見区)
(開所までの間、東部方面に中央児童相談所のサテライト拠点を設置) **NEW**
- －「こども家庭総合支援拠点」機能の全区展開
(10区⇒18区)



■子どもの可能性を広げる教育の推進

NEW

- －最先端のICTや26万人児童生徒のデータ分析等により、
新たな学びを創造する「スマート教育センター」(仮称)の
設置準備(事業者選定・設計協議)
- －英語教育の充実などグローバル人材の育成

<(仮称)スマート教育センターイメージ>



<ICT支援員による授業支援の様子>

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



暮らしやすく、誰もがWELL-BEINGを実現できるまち

○誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり

■高齢者福祉の充実

- －特別養護老人ホーム整備(竣工480人分、着工757人分)
- －介護ロボット・ICTの導入支援



<多機能型拠点の様子>

■医療提供体制の充実強化

NEW

- －小児がんの長期フォローアップの推進に向けた新たな補助の実施
- －看護専門学校の設備改修等に対する補助 NEW



<日本語支援拠点の様子>

■障害児・者支援の充実

- －多機能型拠点の整備(港北区、市内4か所目) NEW
- －障害者への移動支援

■多文化共生の推進

- －日本語支援拠点の新設(都筑区、市内3か所目) NEW
- －国際交流ラウンジの新設(磯子区、市内12か所目) NEW

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



暮らしやすく、誰もがWELL-BEINGを実現できるまち

○Zero Carbon Yokohamaの実現

～横浜型「大都市モデル」の発信～

■Zero Carbon Yokohamaの実現

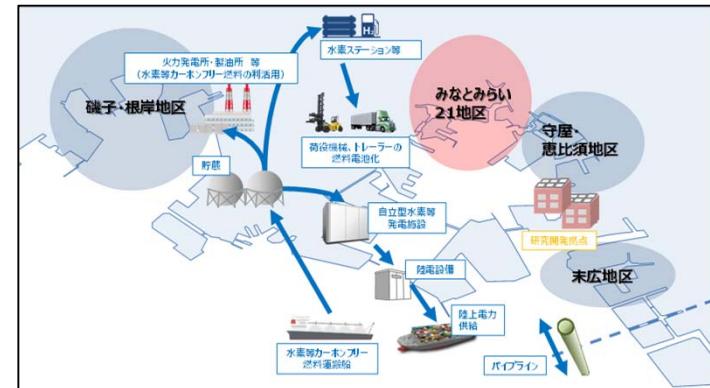
- －臨海部における脱炭素イノベーションの創出
- －集合住宅へのEV充電設備設置補助の拡充等
- －脱炭素ライフスタイルキャンペーンの新たな実施 **NEW**
- －グリーンリカバリーの観点を踏まえた省エネ効果の高い設備導入への助成 **NEW**

■ごみ焼却工場の再整備

- －保土ヶ谷工場の再整備に向けた設計・調査
- －鶴見工場の長寿命化対策

■サーキュラーエコノミー実現に向けた検討

- －経済循環と地域課題の同時解決に向けた実証実験の実施 **NEW**



<臨海部における脱炭素イノベーションのイメージ>



<保土ヶ谷工場>

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



人や企業が集い、つながり、 新しい価値を生み出し続けるまち

- 力強い経済成長の実現と賑わいがあふれるまちづくり
- 住まいと地域を大切にする持続可能な郊外部のまちづくり
- 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり



人や企業が集い、つながり、新しい価値を生み出し続けるまち

○力強い経済成長の実現と賑わいがあふれるまちづくり

■戦略的な企業誘致とイノベーション創出

- －研究開発機能集積に向けた土地利用誘導策の策定 **NEW**
- －オープンイノベーションの推進、社会課題解決に挑戦するスタートアップの創出・成長支援
- －企業・大学等との連携によるイノベーション人材の育成・ビジネス環境の発信



<いすゞ自動車本社移転>

■中小企業・小規模事業者への支援、商店街の振興

- －制度融資による資金繰り支援の拡充(再掲) **NEW**
(新型コロナウイルス特別資金、SDGsよこはま資金の創設)
- －グリーンリカバリーの観点を踏まえた省エネ効果の高い設備導入への助成(再掲) **NEW**
- －商店街プレミアム付商品券の発行支援
(電子商品券の補助上限額の拡充)(再掲)



<横浜未来機構キックオフ・イベント(令和3年11月)>

人や企業が集い、つながり、新しい価値を生み出し続けるまち

■観光・MICEの推進

- －横浜市観光MICE戦略の策定(令和5年3月) **NEW**
- －観光地域づくり法人(DMO)を中心とした観光推進体制の構築に向けた検討 **NEW**
- －SDGs等を切り口とした観光資源の充実・開発 **NEW**
- －大河ドラマ等を契機とした誘客プロモーション **NEW**

■文化芸術・スポーツの推進

- －金沢区の区民文化センター整備に向けた基本構想策定
- －「横浜音祭り2022」の開催(コア期間:令和4年9~11月)
- －大規模スポーツイベントの誘致・開催支援
- －第3期横浜市スポーツ推進計画の策定(令和4年6月)

■海外とのネットワークを活用した海外活力の取り込み

- －「アジア事務所」(仮称)の開設 **NEW**
(ムンバイ事務所をタイ・バンコクに移転、令和4年夏頃)
- －海外スタートアップ支援プラットフォームと横浜市イノベーションプラットフォームとの連携強化 **NEW**



＜第10回アジア・スマートシティ会議＞
(R3年10月開催)

人や企業が集い、つながり、新しい価値を生み出し続けるまち

○住まいと地域を大切にする持続可能な郊外部のまちづくり

■旧上瀬谷通信施設地区の土地利用推進

- －区画整理事業計画決定・工事着手
- －防災機能の検討調査 **NEW**

■新たな地域交通施策の検討

- －実証実験等に取り組み、様々な移動サービスのあり方を検討 **NEW**

■通学路等安全対策の推進

- －地域の要望を踏まえた歩道設置やあんしんカラーベルトの整備



<ワゴン型車両による地域交通の運行事例>
(戸塚区小雀地区)

人や企業が集い、つながり、新しい価値を生み出し続けるまち

○成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり

■山下ふ頭用地の造成等

- ー用地の造成、市民意見・事業提案募集、
新たな事業計画の策定に向けた検討 **NEW**

■エキサイトよこはま22の推進

- ーステーションオアシス地区等の横浜駅周辺民間
開発の推進、東口駅前開発・基盤整備の検討

■関内・関外地区の活性化推進

- ー横浜文化体育館の再整備(令和6年4月供用開始)



<横浜文化体育館完成イメージ>

市民生活や都市を 支える基盤づくり

- 花・緑・農・水の豊かな魅力あふれる都市づくり
- 災害に強い安全・安心な都市づくり
- 市民生活と経済活動を支える都市づくり



市民生活や都市を支える基盤づくり

○花・緑・農・水の豊かな魅力あふれる都市づくり

■国際園芸博覧会の推進

- － 2027年国際園芸博覧会協会と連携した開催準備の推進(会場整備など)
- －市内での広報・機運醸成の強化
- －輸送手段の検討



＜国際園芸博覧会協会の設立＞

■公園整備事業

- －「舞岡町公園」(仮称)の一部、「小柴自然公園(第1期エリア)」の供用開始(令和4年度末)



＜新規就農者への農業機械の導入支援＞

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



市民生活や都市を支える基盤づくり

○災害に強い安全・安心な都市づくり

■災害情報伝達・普及啓発

- －浸水ハザードマップ(高潮・洪水・内水)の配布(全区完了)
- －マイ・タイムラインの作成支援



<防災・減災推進研修>

■風水害対策の推進

- －エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線等の整備

■消防力の強化

- －新たな消防本部庁舎の整備、消防訓練センター大訓練場等の基本計画策定 **NEW**
- －救急隊の増隊(計83隊⇒84隊)
- －Net119緊急通報システムの運用



<新たな消防本部庁舎の完成イメージ>

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



市民生活や都市を支える基盤づくり

○市民生活と経済活動を支える都市づくり

■神奈川東部方面線整備事業

- －相鉄・東急直通線(令和5年3月開業予定)



<相鉄・東急直通線用新型車両 相鉄21000系>

■高速鉄道3号線延伸事業

- －行政手続きや協議等に必要な調査・設計
- －新駅設置に伴う公共交通ネットワーク等の検討



<交通渋滞状況(鶴ヶ峰2号踏切)>

■グリーンラインの6両化

- －令和4年度から段階的に6両化を実現

■連続立体交差事業

- －相鉄線 鶴ヶ峰駅付近 連続立体交差事業の着工 **NEW**

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



DXの推進～デジタルの力で横浜を変革～

○横浜DX戦略(仮称)による推進

■基本目標

※ 方向性/骨子案を本日公表

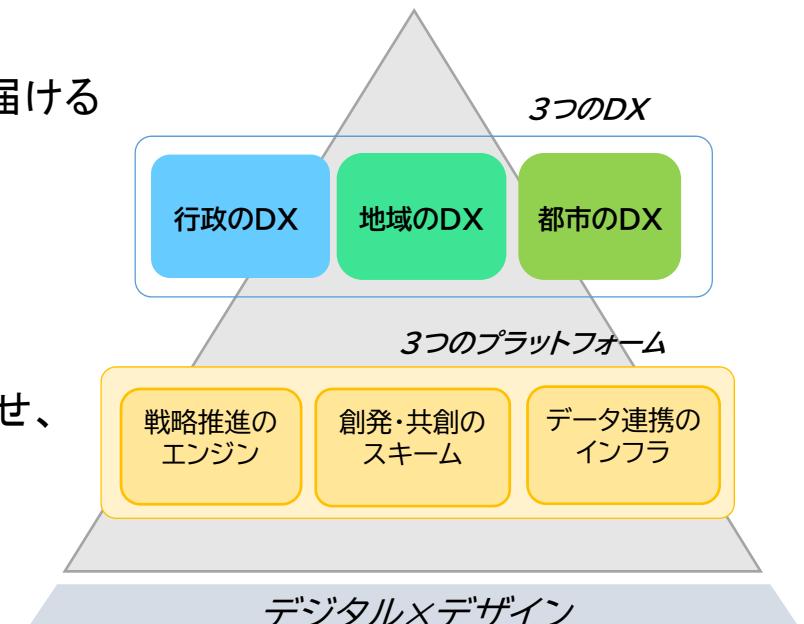
デジタルの恩恵をすべての市民、地域に行きわたらせ、魅力あふれる都市をつくる

「デジタル×デザイン」をキーワードに
デザインの力で、デジタルの恩恵をより多くの方々に届ける

- ・新たな価値創造に向けて、デジタルだけでなく、仕組み全体をデザイン
- ・デジタルが苦手な方々にも、デジタルの恩恵が行き届くようにデザイン

■「3つのDX」と「3つのプラットフォーム」

DX戦略の推進を支える3つのプラットフォームを駆動させ、
行政、地域、都市の3つのレイヤーでDXを推進



■7つの重点方針

「初動のアクション」と「戦略推進の土台づくり」を中心に推進

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



DXの推進～DX戦略 7つの重点方針～

○ 初動のアクション（重点方針1～4）

まず、実感が湧くものや最前線の現場を重視して、「初動のアクション」を推進

行政の
DX

1 「あなたのいる場所が手続きの場所になる」行政サービス実現

- 行政手続きのスマートフォン対応を加速、
市民施設や図書館の利用システムの再構築着手 など

行政の
DX

2 「場所を選ばず組織を越えて連携できる」ワークスタイル実現

- 市役所・区役所のWEB会議、クラウドサービス利用環境の整備 など

行政の
DX 地域の
DX

3 地域の交流と活動を支えるミドルレイヤーのエンパワーメント

- 「デジタル区役所」のモデル区（西・港南）で、様々な実証実験を実施
アプリ等の活用による消防団など地域の担い手の支援

地域の
DX 都市の
DX

4 先行、先進のプロジェクトを地域や都市レベルで展開・発信

- 子育て、教育、防災を重点3分野に、様々な分野・地域で付加価値を創造
- デジタルタウンの創生（郊外部）、デジタルシティへの発展（都心部）

DXの推進～DX戦略 7つの重点方針～

○戦略推進の土台づくり（重点方針5～7）

戦略推進の
エンジン

5 デジタル×デザインを戦略的に推進する体制の強化

- デジタル統括本部にデジタル・デザイン室新設、
ICT運用部門統合で 100名を超える体制に ※現行26名体制
- 民間人材を含む多様な人材の活用と共創の手法で
デジタル×デザインを戦略的にリード

創発・共創の
スキーム

6 創発・共創とオープンイノベーションの仕組みづくり

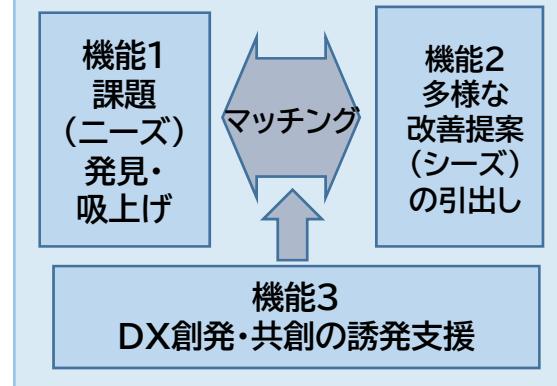
- 横浜の強みを活かした創発・共創のプラットフォーム
[「YOKOHAMA Hack!」を始動](#)

データ連携の
インフラ

7 セキュアで活用・連携しやすいデータ基盤の整備

- データ活用の推進
- 住民情報系システムの標準化対応 など

YOKOHAMA Hack !
課題を有する行政や地域の現場と、
デジタル技術を持つ多様な主体との架け橋



内 容

● 感染症対策のさらなる強化

- ・感染症対策の強化
- ・横浜経済の回復

● 「誰もが自分らしさを發揮し、いきいきと安心して暮らすことができる街」の実現に向けて

- ・横浜市の状況
- ・実現に向けた3つの柱（令和4年度予算案の取組）
- ・DXの推進

● 令和4年度予算案（予算規模、歳入、事業見直し）

● 持続可能な市政運営の実現に向けて

- ・必要な施策の推進体制の整備（府内検討体制、機構改革）
- ・財政ビジョン（素案）の公表

令和4年度予算案（予算規模）

一般会計

1兆9,749億円

対前年度
▲324億円（▲1.6%※）

※実質的な伸び率は、+1.0%
3年度当初予算の特殊要因を除いた
場合（道路建設事業団関連支出）

	令和4年度	令和3年度	増▲減	増減率
一般会計	1兆9,749億円	2兆 73億円	▲324億円	▲1.6%
特別会計	1兆2,484億円	1兆3,013億円	▲529億円	▲4.1%
公営企業会計	5,842億円	5,934億円	▲ 92億円	▲1.6%
総 計	3兆8,074億円	3兆9,020億円	▲945億円	▲2.4%

令和4年度予算案（歳入）

市 税 収 入

8,458億円

対前年度
+505億円 (+6.4%)

	令和4年度	令和3年度	増▲減	増減率
うち個人市民税	4,062億円	3,883億円	179億円	4.6%
〃 法人市民税	474億円	329億円	145億円	44.0%
〃 固定資産税	2,867億円	2,730億円	137億円	5.0%

※表は当初予算比較 [参考] R3年度決算見込額：8,329億円（対R3当初予算+376億円）

市債活用額

1,360億円

対前年度
▲358億円 (▲20.8%)

- ・令和4～7年度は、5,300億円程度を活用予定
R4年度の内訳 建設債965億円：臨財債395億円（前年度 938億円：780億円）

令和4年度予算案（事業見直し）

- ・限られた経営資源の中で、必要な施策を推進するため、徹底した見直しを実施

令和4年度 事業見直し 1,069件 88億円

- ・4年度予算編成において、「歳出改革」を意識した見直しを実施
- ・令和4年度は「歳出改革元年」として、抜本的な事業見直しに着手
※「歳出改革」を含めた、今後10年程度を見据えた中長期的な行政運営のあり方・方向性を示す「行政運営の基本方針」を、令和4年度中に策定



主な見直し内容

- 市役所内部経費の見直し
- 民営化・委託化の取組
- 事業手法等の見直し

内 容

● 感染症対策のさらなる強化

- ・感染症対策の強化
- ・横浜経済の回復

● 「誰もが自分らしさを發揮し、いきいきと安心して暮らすことができる街」の実現に向けて

- ・横浜市の状況
- ・実現に向けた3つの柱（令和4年度予算案の取組）
- ・DXの推進

● 令和4年度予算案（予算規模、歳入、事業見直し）

● 持続可能な市政運営の実現に向けて

- ・必要な施策の推進体制の整備（府内検討体制、機構改革）
- ・財政ビジョン（素案）の公表

市民の皆様の信頼に応え、必要な施策を推進する体制の整備

庁内の検討体制

子どもから高齢者まで、誰もがいきいきと安心して暮らすことができる街の実現に向け、庁内の検討を進めます

中学校給食

より多くの生徒に給食を提供することを目指し、専任体制を設置し、最適な実施方法を検討

子育てしやすい環境

安心して子どもを生み育てられる環境の実現に向け、経済的な支援も含め、横断的チームを設置し、検討

高齢者等外出支援

地域の総合的な移動サービスのあり方について、高齢者等に焦点をあて、横断的チームを設置し、検討

主な機構改革

感染症対策・健康安全室の新設(健康福祉局)

新型コロナウイルスなどの感染症対策に、より迅速・集中的に対応するため、体制を強化します

デジタル・デザイン室の新設 等 (デジタル統括本部)

デジタル・デザイン室の新設と、総務局からICT運用部門の移管により、デジタル化を強力に推進します

行政イノベーション推進室の新設(総務局)

今後の行政の創造・転換を図るため、「行政運営の基本方針」を策定し、この方針に位置付ける歳出改革などに取り組みます

シティプロモーション推進室の新設(政策局)

広報・プロモーション・報道を一体的に展開、市民の皆様への情報発信力を強化します

「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」(素案) の公表

- ◆ 現役世代はもとより、子どもたちや将来の市民のため、“財政を土台”に、持続可能な市政が進められるよう、「財政ビジョン」を先行して策定（5月原案公表、6月確定）
- ◆ 財政ビジョンに基づき、「行政運営の基本方針」と「次期中期計画」を今後策定。これらの3つの方針・計画を市民・市会の皆様と共有しながら、**将来に向かって持続可能な市政を推進**

行政運営の基本方針

時代の変化に対応した、今後10年程度の行政運営のあり方・方向性（歳出改革を含む）

次期中期計画

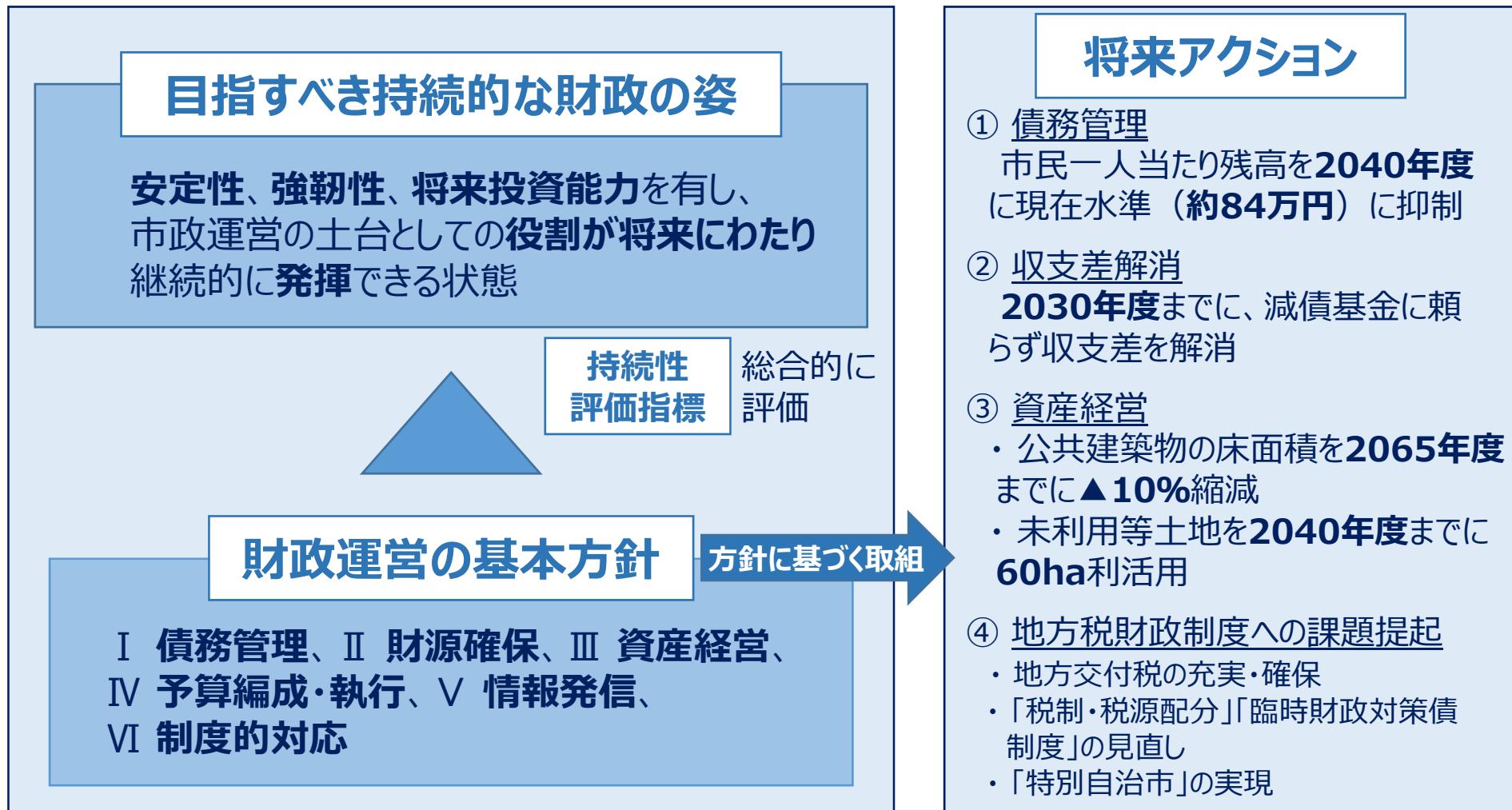
2040年頃を見据えためざすべき都市像、中長期的な戦略、4年間で重点的に取り組む政策

<スケジュール（想定）>

5月: 基本的方向 9月: 素案公表 12月: 原案公表・確定

「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」（素案）の公表

〈本編〉



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



令和4年度予算案のポイント

- 感染症対策のさらなる強化(感染症対策の強化と横浜経済の回復)
- 誰もが自分らしさを發揮し、いきいきと安心して暮らすことができる街の実現

人口減少の兆しが見え始めている中で、持続可能な市政運営を実現するために

多くの皆様から「住みたい・住み続けたい」と思っていただける横浜

事業者の皆様から選ばれる横浜

重要な施策の検討・推進

- ・中学校給食
- ・子育てしやすい環境
- ・高齢者等外出支援
- ・感染症対策・健康安全室の新設
- ・デジタル・デザイン室の新設
- ・行政イノベーション推進室の新設
- ・シティプロモーション推進室の新設

4年度予算は、喫緊の課題である感染症対策にしっかりと取り組むとともに、子育て支援・教育・DX・脱炭素に重点を置いて編成

政策プロジェクト

子育て世帯に優しい施策や事業者に選ばれる施策など本格的な人口減少時代に対応した効果的な施策を検討

持続可能な市政運営の土台となる**「財政ビジョン」**の策定

変化に対応した**「行政運営の基本方針」**の策定

将来を見据えた政策を推進するための**「次期中期計画」**の策定

